
★★★★★ 東京長高金鷄会メールマガジン 2013/4 ★★★★★
東京長高金鷄会は関東在住の長野高校出身者による交流の場です。同窓生の交流・親睦のため定期的に講演会を企画し、メルマガを配信しています。

- 【1】 佐久間象山について 尾崎州日古（高校9回）
 - 【2】 春の講演会のご案内
 - 【3】 メルマガ御寄稿のお願い
 - 【4】 後記
-

- 【1】 佐久間象山について 尾崎州日古（高校9回）
-

今年のNHK大河ドラマで「八重の桜」が放送されています。

その初回から、俳優奥田瑛二が扮する「佐久間象山」が登場し、第二回の番組の終りの「八重の桜紀行」では松代の象山神社が紹介されました。

(NHK HP: <http://www9.nhk.or.jp/taiga/kikou/yaenosakura/map02.html>)

残念ながら3月17日放送の第11回で佐久間象山は帰らぬ人となってしまいました。佐久間象山がこれほどドラマで取り上げられたのはおそらく初めてではないでしょうか。

全国的に知名度が一気に上がったことと思います。

私が以前勤めていた江東区の永代に佐久間象山の史跡があります。

場所は永代橋の東側、約300mに小さな運河があり、福島橋という橋が架かっています。その福島橋の西の袂のごく小さな公園の前に史跡案内板が建っています。



史跡案内板には以下のように記述されています。

江東区登録史跡
佐久間象山砲術塾跡

永代1-14付近

この地は、佐久間象山が西洋砲術塾を開いた信濃国（長野県）松代藩下屋敷があった場所です。象山は松代藩士で、幕末の兵学者・思想家として著名です。文化八年（1811）松代城下で生まれ、名は啓（ひらき）、通称は修理（しゅり）、雅号は「ぞうざん」と称したともいわれています。天保四年（1833）江戸へ出て佐藤一斉に朱子学を学び、同十三年（1842）、藩主真田幸貫より海外事情の調査を命じられました。おりしも、イギリス・清国間で勃発したアヘン戦争（1840～42）に衝撃を受け、おもに海防問題に取組み、九月には江川太郎左衛門（英龍・坦庵）に入門して西洋砲術を学びました。

嘉永三年（1850）七月、深川小松町（永代一）の下屋敷で諸藩の藩士らに西洋砲術を教え、このころ、勝海舟も入門しました。同年十二月、いったん松代へ帰藩しますが、翌年再び江戸へ出て、木挽町（中央区）に砲術塾を開きました。門下には、吉田松陰・坂本龍馬・加藤弘之など多彩な人物がいました。

安政元年（1854）、ペリー来航に際し、吉田松陰が起こした密航未遂事件に連座して松代に幽閉されました。元治元年（1864）に赦され、幕府に招かれて京都に上りましたが、七月十一日、尊王攘夷派浪士に暗殺され、五四歳の生涯を閉じました。

平成21年3月

江東区教育委員会



永代橋の近くに行くことがありましたら是非ご覧いただいて、幕末の佐久間象山の西洋砲術塾に思いを馳せていただければと思います。

長野高校に所蔵されているお馴染みの「佐久間象山の肖像画」については、同窓生の「飯田耕平氏のブログ」<http://kohei-dc.com/?p=16791> と、「週刊長野記事アーカイブ」<http://weekly-nagano.main.jp/2012/07/07-27.html> に詳しく記載されていますのでご覧ください。

【2】 「春の講演会」開催の御案内

長野高校同窓 関東在住の皆様

東京長高金鷄会 2013 年「春の講演会・懇親会」のご案内

拝啓

陽春の候、長野高校ご卒業の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、春の講演会を下記の通りご案内申し上げます。お知り合いのご同窓もお誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

敬具

2013 年 4 月

東京長高金鷄会会長 田中信義

記

日 時：2013 年 5 月 17 日（金）18 時～（受付開始：17 時 30 分より）

会 場：コートヤード・マリオット 銀座東武ホテル

中央区銀座 6-14-10 Tel:03-3546-0111

HP: <http://www.tobuhotel.co.jp/ginza/>

講演会： 2 階 桜Bの間

講 演：18 時～19 時

〈演者〉 中野 隆史 氏 （高校 24 回）

群馬大学重粒子線医学研究センター長、医学系研究科腫瘍放射線学分野教授

「がんの重粒子線治療の現状と展望」

“臓器を温存してがんを治す先進的放射線治療”が脚光を浴びています。中でも、線量の集中性と高い生物効果で注目されているのが、重粒子線治療です。この重粒子線治療は国際的にも我が国が世界をリードする数少ない革新的ながん治療法であり、群馬大学は重粒子線治療装置を持つ世界で2つの大学の一つです。従来の放射線難治性のがんや、手術不可能ながんに対しても目覚ましい治療成績を上げている重粒子線治療の現状と将来について、情報を提供します。

話題提供：19 時～19 時 30 分

〈演者〉 久保田 美穂子 氏 （高校 36 回）

公益財団法人日本交通公社 観光文化事業部 主任研究員

「温泉地再生～現場の知恵とリーダーたちの志に学ぶ」

日本人は温泉が本当に好きで、アンケートでは9割近くの方が「温泉が好き」と答えます。旅行目的も毎年「温泉旅行」がトップ。「にもかかわらず、温泉地や温泉旅館が苦しんでいるのはなぜ？」という素朴な疑問を出発点に、全国の温泉地やリーダーを訪ねて歩きました。

地域の活力はどこから湧いてくるのか、現場の知恵と志に学び、私なりに考えたことを報告します。時代の転換期を迎えている今、未来は過去の延長にはないようです。

懇親会： 2 階 桜Aの間 19 時 30 分～21 時

会 費： 7,000 円（含む懇親会費、事務費）

<連絡先> 東京長高金鷄会連絡係 植田啓
E-mail: info@tokyo-choukou.com

【3】メルマガに御寄稿のお願い

各期の集い、望郷記、仕事、趣味等の御寄稿をお待ちしています。

東京長高金鷄会連絡係
E-mail: info@tokyo-choukou.com

【4】後記

6日に長野市の実家に帰ると、庭の梅の花が満開でした。ニュースでは、長野市の桜（ソメイヨシノ）の標準木（箱清水）が開花したと伝えていました。

まだ寒かったこの日ですが、街の中では走っている人が目につき、聞くと21日にマラソン大会があるそうです。

”長野マラソン”オリンピックを記念して始まり今年で15回目だそうです。

これから春爛漫のふるさとです。

5月17日の「春の講演会」に多くの皆様の参加をお待ちしています。

幹事 北原俊彦

-
- 発行人 田中信義 東京長高金鷄会 会長
 - 編集人 近藤英一 榎本功子 植田 啓 北村秀史
中澤公孝 篠原 徹 小林 淳 北原俊彦
 - お問い合わせ 東京長高金鷄会連絡係 E-mail: info@tokyo-choukou.com
 - 配信停止・登録変更は、東京長高金鷄会連絡係までご連絡下さい。
 - 東京長高金鷄会 HP : <http://www.tokyo-choukou.com/>
-